

## 第4節 協働・学習プロジェクト

### 概要

本市の環境政策を推進する上では多くの方の協力が必要です。子どもから大人までいろいろな立場の市民一人ひとりが、地球や地域の環境を守ることを自覚し、自主的に環境保全のための行動が出来るようになれば大きな推進力となります。

本プロジェクトでは、様々な年齢層、立場の方が主体的に環境学習や環境保全活動に関われるよう、「地域の環境美化・保全活動の推進」「主体的な環境学習・活動等を支える仕組みづくりの推進」「学校での環境教育の推進」を柱として重点的に取り組みます。

### 環境指標の達成状況（先頭に◎がついている指標：プロジェクト代表指標）

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況				
			2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
環境推進員が関わる活動に対する総参加者数	人	増加	56,000	56,560	57,120	57,680	58,240	58,800
				54,627	13,358	30,180	40,865	41,779
				×	×	×	×	×
◎環境学習関連事業の参加者数	人	増加	34,108	基準値以上				
				169,236	66,952	62,354	63,358	60,300
				○	○	○	○	○
市内小中学校における「地球にやさしい学校」の取組評価の平均点	点	増加	23	基準値以上				
				23.0	23.0	—	21.5	21.4
				○	○	—	×	×

### 【現状及び課題】

#### ◆代表目標指標を達成し、他の目標指標についても概ね達成

代表目標指標の「環境学習関連事業の参加者数」については、ゼロカーボンシティの実現に向けたシンポジウムなどの普及啓発イベントや展示、市内の小中学校、団体等に対する環境に係る出前講座等、市民の環境意識の高揚を図る様々な機会を設けたことで、基準値を大きく上回り目標を達成しました。

「環境推進員が関わる活動に対する総参加者数」については、前年度に比べ総参加者数は増加していますが、目標未達成となりました。今後も啓発活動を続け、参加者数の増加を目指していきます。

「市内小中学校における『地球にやさしい学校』の取組評価の平均点」については、『地球にやさしい学校』事業の取組内容が恒常化し、創意工夫の点数が全体的に伸びず、目標未達成となりました。引き続き、事業の見直しを図りながら、子どもたちが主体的に環境配慮行動をとれるよう啓発し、環境教育の浸透に努めていきます。

### 主な施策の実施状況

#### (1) 地域の環境美化・保全活動の推進

毎年春と秋に、所沢市自治連合会・所沢市環境推進員連絡協議会・所沢市の3団体の主催で「環境美化の日」を実施しています。道路、公園、水路等にポイ捨て、放置されたごみを回収する等の清掃活動を行い、地域の環境美化を推進しています。

[2023年度実績]

春の環境美化の日：参加者 22,749人 / 回収したごみの総量 36.07t

秋の環境美化の日：参加者 18,443人 / 回収したごみの総量 28.79t

#### (2) 主体的な環境学習・活動等を支える仕組みづくりの推進

脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策を中心とした環境に係る意識や基礎知識を持ち、主体的な環境行動（環境配慮行動、環境教育、啓発活動等）ができる人材を育成することを目的に、「マチエコリーダー養成事業」を実施しました。マチエコリーダー養成講座 STEP2（実践編）として、市のイベントに参加し、市職員と共に環境学習や啓発を実践した参加者を「マチエコリーダー」として認定しました。

#### (3) 学校での環境教育の推進

児童生徒の環境意識の向上と学校での主体的な環境活動をより活発化させることを目的に、優れた環境活動を行っていた市内小中学校（11校）を「地球にやさしい学校大賞」として表彰しました。

併せて、未来を担う子どもたちが主体的に地球・地域環境を考え、社会の一員として、自覚と認識を深めることを目的とした「地球にやさしいこどもサミット」を開催しました。受賞校の代表児童生徒が、ファシリテーターからの情報提供をもとに、環境問題について話し合いました。

「地球にやさしいこどもサミット」で決めた環境標語と、別途募集した環境ポスターを組み合わせ、環境カレンダーを作成し、市内小中学校等での掲示を通じて、児童生徒の環境意識向上を図っています。



■環境美化の日



■地球にやさしいこどもサミット